

# 神戸女学院大学×大阪ガス都市開発 産学共創ワークショップ ～住みたい学生レジデンスと共感する広告を考えよう～

## <1日目>

学生は5班に分かれ、ファシリテーター、メンターとなる社員の方々のアドバイスを受けながら「**住みたい学生レジデンス**」をテーマにワークショップを開始！

どんな学生寮なら住みたい？今住んでいる学生寮に希望することは？さまざまな意見を集約し解決策をまとめ、プレゼン用の資料を作成するといった作業を2時間余りで仕上げるといったハードなワークを実施。最後は社員の方へのプレゼンを行いそれに対する講評をいただきました。

ほとんどのメンバーが初対面というチームでの作業に学生たちはくたくたになりながらも「**限られた時間で話をまとめて発表するのは難しかったけれど、とても力になりました**」「**アイデアを出す作業は新鮮で自分でも気づかぬ一面に気が付きました**」など充実の時間を過ごしました。



## < 2日目 >

「もし、女子大生が Web 広告代理店だったら。。」というテーマで、実際に分譲する予定のマンションの **Instagram の広告デザイン作り**が課題に！しかも優秀デザインは、実際に Instagram 広告で利用されるという責任重大なワークショップに挑戦しました。

午前中は Web 広告業界で活躍するプロの方からレクチャーを受け、午後からはグループに分かれてデザインワークを実施。1時間半という短い時間で、それぞれのセンスや想いをぶつけ合い、デザインを仕上げました。

作品発表では「**なぜそのデザインにしたのか**」をプロセスも含めて簡潔に、言語化することを求められ、**伝えることの大切さも学ぶ場**にもなりました。

最後はいよいよ採用広告の発表と講評。採用広告は気になるところですが、いまは秘密です。。。



2日間を終え、参加学生からは「グループワークは初めてでしたが、周りの女学院生の魅力にも気づき、自分の苦手が克服できました」「思考を言語化して伝えることの大切さを学びました」「社会人の方々と関わり仕事を体験できたことで、漠然と抱えていた未来への不安が希望へと変化しました」など、それぞれが未来への力を得た2日間となりました。

2日目には大阪ガス都市開発の社員の方々との座談会もあり、就職活動では聞けないような「社会人のホンネ」が飛び出すなど、ざっくばらんに語り合いました。

今回の企画を協働にて実施くださった、大阪ガス都市開発株式会社の皆様とファシリテーターを担われた近藤令子様にご礼申し上げます。

神戸女学院大学では今後も、学生と学外を結ぶ企画を実施していきます。